





株主の皆様へ 第151期 報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

エンシュウ株式会社

証券コード 6218

Corporate Philosophy 経営概念

売ってよろこび、 買ってよろこび、 作ってよろこび、 一生懸命につとめ 共生共栄を旨とする



本社および高塚工場



浜北工場

Contents ■ 目 次

株主の皆様へ	2
事業の概況	3
エンシュウのグローバルネットワーク	5
トピックス	6
連結事業別売上及び受注の状況	8
業績の推移	8
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
株式の状況	13
会社の概況	14

■株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。 平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連結会計年度における世界経済は、米国を中心に回復が続いたことから堅調に推移いたしましたが、後半にかけて米中貿易摩擦等により中国経済に減速感が見られるなど、先行きが不透明な状況となっております。

このような情勢の中、当社グループは受注確保に向け、アジア、欧米、国内において拡販を図り、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業部門の増加により30,747百万円(前期比31.0%増)となりました。損益につきましては、工作機械関連事業部門の利益改善により、営業利益は2,599百万円(前期比179.9%増)、経常利益は2,266百万円(前期比236.2%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は1,616百万円(前期比170.5%増)となりました。

当社の「長期ビジョン、新中期経営計画」では、「お客様の期待に応え選ばれ続けるブランドになる」を経営ビジョンとし、全社一丸となって基盤構築強化に取り組んできた結果、経営目標数値を1年前倒しで達成することができました。2019年度中に新たな中期経営計画を策定し、更なる発展と成長に取り組んでまいりたいと存じます。

配当金につきましては、長年無配の状態が続いておりましたが、2019年3月期末にて利益剰余金が黒字に転じたため、復配することとなりました。当面は利益の最大化を図りながら、利益剰余金の積み増しによる財務体質の強化と安定的な配当継続を基本的な経営方針としてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう お願い申し上げます。

2019年6月



Review of Operations ■ 事業の概況

2018年4月1日から2019年3月31日に至る当社グループ第151期連結会計年度の事業の概況をご報告申し上げます。

■工作機械関連事業部門

日本工作機械工業会の2018年度の受注総額は1兆6,891億円と過去2番目の高水準となりました。米中貿易摩擦による中国市場の減速などの懸念材料はあるものの、引き続き高水準な受注額を維持すると予測しております。

当社におきましても、受注確保のために国内外において積極的な営業活動を行った結果、当連結会計年度の受注残高は15,611百万円と高い水準を維持しております。損益面におきましても、国内のものづくり改革・調達改革などの施策効果に海外現地法人の増益も加わり、売上高20,357百万円(前期比48.9%増)、営業利益2,132百万円(前期比463.3%増)と大幅な増収増益を達成することができました。

2020年の100周年に向けて「Make Money」「Make Chance」をスローガンに、更なる利益改善と販売市場拡大に取り組んでまいります。







▲CIMT2019

■輸送機器関連事業部門

輸送機器関連事業部門におきましては、主力製品である大型二輪車用部品やベトナムでの生産量が減少したものの、好調なマリンエンジン部品や新規四輪部品の取り込みにより増収となりました。

損益面におきましては、引き続き生産性向上に取り組んでまいりましたが、経費増加により減益となりました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の売上高は10,319百万円(前期比6.0%増)、営業利益は415百万円(前期比16.7%減)となりました。

今後におきましては、既存主力製品の大型二輪車用部品の仕事量が減少する見通しでありますが、引き続き新規顧客の開拓と新規部品の営業活動を日本、ベトナム両拠点で積極的に取り組み、売上確保に努めてまいります。



▲自動車用デフケースライン



▲カムハウジング加工ライン

Global Network 「CINSTU のグローバルネットワーク

工作機械の事業は、海外での製造・販売・サービス網を整備し、拡販しております。

ENSHU(USA) CORPORATION





ENSHU (QINGDAO) LIMITED ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.

ENSHU Limited (Head Office)







ENSHU(QINGDAO) Limited



ENSHU Limited (Hamakita Factories)



ENSHU INDIA PVT Ltd



ENSHU(Thailand) Limited BANGKOK ENSHU MACHINERY Co., Ltd.



PT.ENSHU INDONESIA



ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.



ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I

Topics ► トピックス

工作機械・レーザー事業部

■ EV540 販売開始

BT50主軸を採用した重切削対応立形マシニングセンタ「EV540」の販売を開始いたしました。国内向けにおいて、当社ユーザーのご要望に応えた商品となります。また、従来機をリニューアルし、最新の制御装置を採用、大型画面採用で機能・操作性を向上しております。



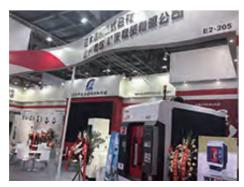


■ METALEX2018に出展

2018年11月21日から24日の4日間、タイ・バンコクで開催された「METALEX2018」に出展いたしました。東南アジア最大規模の工作機械の見本市であり、当社ブースにも多くの方にご来場いただきました。今後ともお客様にご満足いただける商品を提供できるよう日々努めてまいります。

■CIMT2019に出展

2019年4月15日から20日の6日間、中国・北京にて「CIMT (中国国際机床展覧会)」が開催されました。当社は GE480H、WE30Ve、LBM10を展示いたしました。特にレーザー加工機LBM10については、レーザー溶接や焼き入れの展示をしている企業が少ないこともあり、多くのお客様に興味をお持ちいただきました。具体的な相談も多くいただき、中国において、レーザー加工機についても受注活動に努めてまいります。





輸送機器事業部

輸送機器事業部は、マシニングセンタを始めとした自社製設備を組み合わせお客様の幅広いニーズにお応えしています。現在、当社製マシニングセンタを活用し、IoTの導入や5軸加工での金型製作等、工作機械・レーザー事業部と連携を進めるとともに、新規部品の取組みも積極的に行い、仕事量確保と利益創出に努めております。

エンシュウベトナムは、ヤマハ発動機株式会社より海外サプライヤーへの原則活動の普及に協力・貢献したことが認められ、「2018年 Special Thanks賞」を受賞いたしました。

また国内においても、アイシン高丘株式会社より3年間不良品の流出ゼロが評価され、「品質管理 優秀賞」を 受賞いたしました。

今後も継続した品質・生産性向上活動に取り組み、日本・ベトナムでの最適生産体制の構築に努め、お客様から 選ばれ続けるよう努力してまいります。





▲当社製マシニングセンタを活用した自動車用デフケースライン

新規事業·IoT推進室

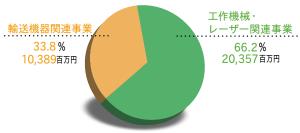
■インフラ分野向けレーザークリーニング装置について

2019年2月 株式会社トヨコー(静岡県富士市)へレーザークリーニング装置「CoolLaser®商標(クーレーザー®)」の主要部分を受注し、納入いたしました。レーザーを用いて、塗膜、サビ、有害物質などを除去する装置であり、鉄橋、鉄塔などインフラ分野での保守作業において、作業性向上や廃棄物低減等の効果が期待されています。当社が今までに培ってきたレーザー関連技術と工作機械のものづくりノウハウを生かし、異業種分野進出への足掛かりとして期待しております。

第148期~第151期 業績の推移

事業別売上高(2018年度)

30,747百万円 (うち海外 14,877 百万円)



(注)その他部門70百万円については輸送機器関連事業に含んでおります。

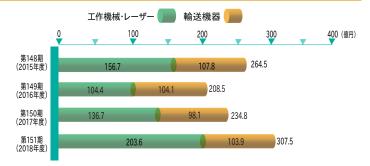
工作機械・レーザー関連事業の受注高(2018年度)



工作機械・レーザー関連事業の受注残高(2019年3月)



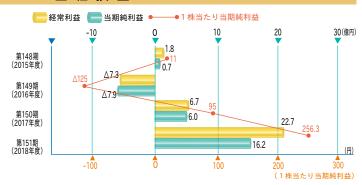
事業別売上高



工作機械・レーザー関連事業の受注高



全社損益



※2018年10月1日付で普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行なっております。 1株当たり当期純利益については、2015年度当時に当該株式併合が行われたと仮定し、作成しております。

Consolidated Financial Statements | 連結財務諸表

連結貸借対照表(2019年3月31日現在)

	建結貝信刈り	点表 (2019年3月31日現在) (単位	百万円 百万円未満は切捨て)
項目	金額	項目	金額
●資産の部●		●負債の部●	
流 動 資 産	21,104	流 動 負 債	15,398
現金及び預金	4,385	支払手形及び買掛金	2,616
受取手形及び売掛金	6,145	電 子 記 録 債 務 短 期 借 入 金	1,715
電 子 記 録 債 権	1,173	カ 日 八 玉 リ ー ス 債 務	6,479 17
商品及び製品	2,354	未払法人税等	508
仕 掛 品	4,828	賞 与 引 当 金	461
		未 払 金	2,008
原材料及び貯蔵品	1,625	その他	1,591
そ の 他	602	固 定 負 債 長 期 借 入 金	1 0,991 5,600
貸 倒 引 当 金	△11	リース債務	36
固 定 資 産	13,891	繰 延 税 金 負 債	141
有 形 固 定 資 産	13,378	再評価に係る繰延税金負債	1,563
建物及び構築物	2,710	役員退職慰労引当金	15
機械装置及び運搬具	2,901	退職給付に係る負債	3,483
		資 産 除 去 債 務 そ の 他	114 35
土 地	7,387	負 債 合 計	26,390
リース資産	13		·
建設仮勘定	145	●純資産の部●	
そ の 他	220	株主資本	5,637
無形固定資産	118	資 本 金	4,640
の れ ん	2	利 益 剰 余 金	1,065
リース資産	36	自 己 株 式	△68
そ の 他	78	その他の包括利益累計額	2,967
投資その他の資産	394	その他有価証券評価差額金	1
投資有価証券	15	土地再評価差額金	3,666
繰延税金資産	80	為替換算調整勘定	223
そ の 他	301	退職給付に係る調整累計額	$\triangle 923$
貸 倒 引 当 金	△2	純 資 産 合 計	8,605
資 産 合 計	34,995	負債及び純資産合計	34,995

連結損益計算書(要旨) 自2018年4月1日 至2019年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

	項	目		金 額	
売		上	高	30,747	
売	上	原	価	25,317	
売	上	総利	益	5,429	
販 売	費及び	一般管	理費	2,829	
営	業	利	益	2,599	
営	業	外 収	益	121	
営	業	外 費	用	454	
経	常	利	益	2,266	
特	別	利	益	14	
特	別	損	失	26	
税 釒	金等調整	前当期網	純 利 益	2,254	
法丿	、税、住 民	税及び	事業 税	506	
法	人 税	等 調	整額	131	
親会	社株主に帰	帰属する当其	用純利益	1,616	

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

(十世	. [] [] [] [] [] [] [] [] [] [
項目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	- 3,428
投資活動によるキャッシュ・フロー	- △901
財務活動によるキャッシュ・フロー	- ∆234
現金及び現金同等物に係る換算差額	額 △101
現金及び現金同等物の増減額(△は減少	2,189
現金及び現金同等物の期首残る	高 2,004
現金及び現金同等物の期末残る	· 自 4,194

連結株主資本等変動計算書

自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

all to a sile to all the c		株	主 資	本	
残高及び変動事由	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2018年4月1日残高	4,640	1,230	△1,781	$\triangle 67$	4,021
連結会計年度中の変動額			597		
欠 損 填 補		△1,230	1,230		
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益			1,616		1,616
自己株式の取得				Δ0	Δ0
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変 動 額 (純 額)					
連結会計年度中の変動額合計	1	△1,230	2,846	△0	1,615
2019年3月31日残高	4,640	_	1,065	△68	5,637

		thate to				
残高及び変動事由	その他 有価証券 評価差額金	土地再評 価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	純資産 計
2018年4月1日残高	2	3,666	435	△1,012	3,091	7,113
連結会計年度中の変動額						
欠 損 填 補						-
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益						1,616
自己株式の取得						Δ0
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変 動 額 (純 額)	Δ0		△211	89	△123	△123
連結会計年度中の変動額合計	Δ0	_	△211	89	△123	1,491
2019年3月31日残高	1	3,666	223	△923	2,967	8,605



Non-Consolidated Financial Statements ■ 個別財務諸表

個別貸借対照表(2019年3月31日現在)

		(単位 百	百万円 百万円未満は切捨て)
項 目	金額	項目	金額
●資産の部●		●負債の部●	
流 動 資 産	18,101	流 動 負 債	13,961
現金及び預金	2,847	支 払 手 形	433
受 取 手 形	9	買 掛 金	2,017
売 掛 金	6,560	電 子 記 録 債 務	1,715
電 子 記 録 債 権	1,173	短 期 借 入 金	6,479
商 品 及 び 製 品	505	リース債務	15
仕 掛 品	4,453	未 払 金	1,872
原材料及び貯蔵品	1,169	未 払 費 用	116
関係会社短期貸付金	615	未 払 法 人 税 等	485
未 収 入 金	377	前 受 金	157
前 払 金	308	預 り 金	115
前払費用	21	賞 与 引 当 金	461
未収消費税等	10	営業外電子記録債務	81
その他	48	そ の 他	9
貸倒引当金 固定資産	△0	固 定 負 債	9,919
する おおおお	14,777 11,880	長 期 借 入 金	5,600
建物	1,959	リース債務	33
構築物	1,959	再評価に係る繰延税金負債	1,563
機械及び装置	2,087	繰 延 税 金 負 債	0
車両運搬具	9	退職給付引当金	2,556
工具、器具及び備品	165	役員退職慰労引当金	15
土 地	7,387	資 産 除 去 債 務	114
リース資産	4	長期預り保証金	35
建設仮勘定	116	負 債 合 計	23,881
無形固定資産	110		
ソフトウェア	20		
ソフトウェア仮勘定	53	●純資産の部●	
リ ー ス 資 産	36	株 主 資 本	5,330
投資その他の資産	2,786	資 本 金	4,640
投資有価証券	11	利 益 剰 余 金	758
関係会社株式	417	その他利益剰余金	758
出 資 金	0	繰越利益剰余金	758
関係会社出資金	1,383	自己株式	△68
関係会社長期貸付金	924	評 価・換 算 差 額 等	3,667
従業員に対する長期貸付金	24	その他有価証券評価差額金	1
長期前払費用	2	土地再評価差額金	3,666
そ の 他 貸 倒 引 当 金	$\begin{array}{c} 24 \\ \triangle 2 \end{array}$	純 資 産 合 計	8,998
			-
資 産 合 計	32,879	負債及び純資産合計	32,879

個別損益計算書(要旨) 自2018年4月1日 至2019年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

	項	目		金額
売	١	=	高	28,200
売	上	原	価	24,004
売	上	総利	益	4,195
販売	費及び	一般管	理 費	2,075
営	業	利	益	2,120
営	業	ト 収	益	579
営	業	人 費	用	430
経	常	利	益	2,268
特	別	利	益	12
特	別	損	失	26
税引	川 前 当	期純和	当 益	2,254
法人	税、住民	税及び事	業 税	425
当	期	純利	益	1,829



個別株主資本等変動計算書 自2018年4月1日 至2019年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

			株	主	資	本		
残高及び変動事由		資	本剰余	金	利益乗	余金		株主資本
が同及し友到寺山	資本金	資本	その他資		その他利益剰余金		自己株式	合 計
		準備金	本剰余金	金合計	繰越利益剰余金	合 計		
2018年4月1日残高	4,640	1,230	_	1,230	∆2,300	∆2,300	∆67	3,502
事業年度中の変動額								
資本準備金からその他		41.000						
資本剰余金への振替		∆1,230	1,230	_				_
欠 損 填 補			∆1,230	∆1,230	1,230	1,230		_
当期純利益					1,829	1,829		1,829
自己株式の取得							∆0	∆0
株主資本以外の項								
目の事業年度中の								
変 動 額(純 額)								
事業年度中の変動額合計	_	∆1,230	_	∆1,230	3,059	3,059	∆0	1,828
2019年3月31日残高	4,640	_	_	_	758	758	∆68	5,330

	評化	評価・換算差額等					
残高及び変動事由	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	土地再評価差 額 金	評価・換算 差額等合計	純資産合計			
2018年4月1日残高	2	3,666	3,668	7,170			
事業年度中の変動額							
資本準備金からその他 資本剰余金への振替				_			
欠 損 填 補				_			
当期純利益				1,829			
自己株式の取得				Δ0			
株主資本以外の項 目の事業年度中の 変 動 額(純 額)	Δ0		Δ0	Δ0			
事業年度中の変動額合計	Δ0	_	Δ0	1,827			
2019年3月31日残高	1	3,666	3,667	8,998			



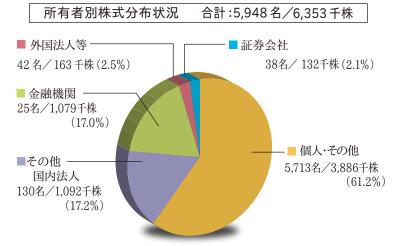
1. 株式の総数・資本金

発 行 可 能 株 式 総 数 15,000,000 株 1 単 元 の 株 式 数 100 株 発 行 済 株 式 の 総 数 6,353,454 株 (自己株式 46,874 株を含む) 資 本 金 4,640,850,000 円

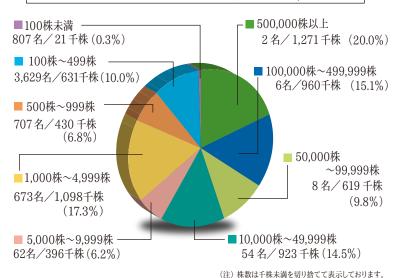
※2018年10月1日を効力発生日として、単元株式数変更 (1,000株→100株)および株式併合(10:1)をしております。

2. 大 株 主

ヤマハ発動機株式会社 645.739株 (10.23%) エンシュウ取引先持株会 625,990株 (9.92%) 浜松ホトニクス株式会社 200.000株(3.17%) 前 尾 和 男 186,700株(2.96%) 株式会社みずほ銀行 157.267株 (2.49%) みずほ信託銀行株式会社 145.500株(2.30%) 株式会社りそな銀行 141.425株 (2.24%) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 129,500株(2.05%) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) 99.500株 (1.57%) エンシュウ従業員持株会 97.721株 (1.54%) (注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。



所有株数別分布状況 合計:5,948名/6,353千株



Company Profile ■ 会社の概況

設 立 1920年2月5日

資 本 金 46億4.085万円

発行済株式総数 6,353,454株

株 主 数 5.948名

従 業 員 数 996名(連結)

生 産 品 目 工作機械、輸送機器関連部品

レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜 北 工 場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業 部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅 788 電話 053-588-4771(代)

東 京 支 店 〒140-0011 東京都品川区東大井 4-13-15 (スターハイツ)

電話 03-5479-1671(代) 大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-43 (ファサード江坂ビル) 電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション /東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.

ENSHU (USA) CORPORATION (アメリカ・シカゴ)

ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I (メキシコ・ケレタロ)

ENSHU GmbH (ドイツ・フランクフルト郊外)

ENSHU (Thailand) Limited (タイ・バンコク) BANGKOK ENSHU MACHINERY Co..Ltd. (タイ・バンコク)

PT.ENSHU INDONESIA (インドネシア・ジャカルタ)

ENSHU (QINGDAO) LIMITED (中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD. (中国・青島)

ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch Office (中国·蘇州)

ENSHU INDIA PVT Ltd. (インド・グルガオン)

(ベトナム・ハノイ)

取締役体制

(2019年6月27日現在)

代表取締役社長 下 晴 111 央 代表取締役 縢 宏 和 倉 社 外 取 締 役 黒 出 良 村 泰 之 中 (常勤監査等委員) 社外取締役 尚 石 塚 (監査等委員) 社外取締役 和 彦 森

執行役員体制

(監査等委員)

(2019年4月1日現在) 社長執行役員 Ш 下 晴 央 副社長執行役員 勝 倉 宏 和 (兼管理本部長) 常務執行役員 木 敦 \pm 給 (工作機械・レーザー事業部長) 上席執行役員 弘 富 \mathbf{H} 敏 (工作機械・レーザー事業部副事業部長) 上席執行役員 木 和 夫 (工作機械・レーザー事業部副事業部長兼技術部長) 上席執行役員 浩 松 永 (輸送機器事業部長) 行 役 員 内 Ш 浩 (新規事業·loT推進室室長) 行 役 員 猛 加 藤 (工作機械・レーザー事業部 営業部長)

株主メモ

事業年度毎年4月1日~翌年3月31日

剰余金の配当の基準日

(期末配当) 3月31日 (中間配当) 9月30日

定 時 株 主 総 会 毎年6月下旬

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記録された議決権を有する株主となります。

単元株式数 100株

株 主 名 簿 管 理 人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公 告 方 法 電子公告 (https://www.enshu.co.jp/koukoku/)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)	
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部	
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 ブラネットプース(みずほ銀行内の店舗 でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付 先・電話お問い合わせ先・各種手 続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買 増以外の株式売買はできません。証券 会社等に口座を開設し、株式の振替手 続きを行っていただく必要があります。	

単元株式数の変更と株式併合についてのご案内

当社は2018年10月1日をもって

- ①単元株式数を1,000株から100株に 変更いたしました。
- ②当社の普通株式10株を1株に併合いたしました。

単元未満株式 (1~99株) を 保有されている株主の皆様へ

単元未満株式は

市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から99株)を保有されている株主の皆様からの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部に お問合せください。 0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式に ついては、お取引きの証券会社等を通じてお手続き をしていただくようになりますので、株主様のお取引き の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。 ホームページアドレス https://www.enshu.co.jp

